

ドイツ視察ご意見ご提言その他（YMF 経済研究会会員他）

●ドイツ脱原発視察団が16日に日本を発たれる前にこのメールを見られるかは疑問ですが、視察の目的の中に記載されている数値、すなわち、ドイツでは再生可能エネルギーの割合を2010年17%、2020年35%、2040年65%温室効果ガス削減目標2020年40%、2050年80%と記載されています。

此れ等の数値はドイツのグリーンピース運動がブログに描いている数値と全く同じです。

グリーンピースの描いている数値はきわめて楽観的な状況判断にもとずいて、現実化は不可でしょう。

ドイツに視察されている間下記の点を明確にして来られます様。

1) 上記数値は現在の政府の公式に発表した数値か。EU委員会内に伝えた数値と同じか。
2) 再生可能エネルギーには水力発電、バイオエネルギー、風力発電、太陽発電其の他が有るが、各々の数値をしること。

3) 温室効果ガス削減目標の数値となる各エネルギーごとの具体的数値。

A) ドイツでの石炭利用発電所の割合は高くこれが現在の温室効果ガス排出の大きな原因となっているが、石炭発電所の対策と効果。

B) 天然ガスパイプの完成で575億m³という安定したガスを発電に利用するので最近の技術では排出されるガスは極めて少ないので、温室効果ガス削減に極めて貢献するすると御思われる。その具体的推測数値。

C) ドイツはかなりの電力を輸入しているが、電力の国内生産と輸入の数値。2010年のEU統計局が発表している。将来は？20年、40年、50年。

EU統計局が発表している数値を下に書かれたEU諸国の目標を表で表した報告書を昨晚読んだが何処にファイルしたか、探しているが時間無し。

今晚見つけてサイトだけを書きます。

グリーンピースが記載したドイツの再生エネルギーとうに関する記事は下記のサイトで見れますので御読み下し。

www.greenpeace.org/ja/Global.../Thomas-B-FUKUI.pdf

●ドイツ視察ありがとうございます。1点見てきてほしいことがあります。

ドイツは日本とそっくりの所が有ります。組織プレーが得意です（サッカーなどを見ても良く分かる）しかし、なぜあのように個人を大切にできるのか？

日本のように国民が「右むけ～ 右！」でないのが不思議です。どこが日本と違うのか…日本人には不可能なのか？

●誰か随行がスウェーデンに足を伸ばして重化学プラント以上の防災関連機器の聞き取りなさらしたらより有益ではないかと思えます（NBCプラント）。福島作業員の陳腐な防塵体制は海外から見れば噴飯ものです。

スウェーデンのトレルボルグと言うメーカーは化学プラントや原発の防護服の世界的な1つのメッカです。

<http://www.trelleborg.com/en/Media/The-World-of-Trelleborg/The-protective-power-of-polymers/>
私の古い友人の John.F.Eklund 氏が今も責任者で居りますので将来の参考の為に（この手の事はトップに話を聞いても意味はないので事務方兼現場トップを）お知らせする次第
現場サイドでの HAZ-MAT の世界的権威の一人です。

●ドイツ視察で見てきてほしことがあります。自然エネルギーのひとつの「地中熱の利用」についてです。地下の数メートルは年間を通して温度は一定。夏は涼しく、冬は暖かい。これを利用した方法が「ヒート・ポンプ」システムです。日本では霞ヶ関や企業の意向で普及していません。しかし、欧米では 100 万戸を超えており極めてアリフレタ方法です。このシステムを導入している個人の家を見てきてほしいです。

●英国の新聞 The Guardian が Stockholm で開催された EU Sustainable Energy Week (18-22 June 2012) の会議で EUROSTAT が発表した内容を報道していますので、参照下さい。これに因ると、総エネルギー消費量のうちに占める再生エネルギーの比率は下記。

2020年の目標数値は、Norway 61.6% , Sweden 49%, Germany 18% です。

2010年の数値は Norway 61,6%, Sweden 47,9%, Germany 11%

再生エネルギーには水力発電が含まれますのでノルウェーとスウェーデンの比率が既に2010年で高い。一方、ドイツの水力発電は地形上拡大出来ない事、ロシアからの天然ガスの利用が大きな率を占めているからです。スウェーデンでの再生可能エネルギーの割合が伸びていない様にこの統計では見えますが、2020年までのエネルギー総消費の伸びの中での比率で、スウェーデンの再生可能なエネルギーでは水力発電の新設は環境の点から望めない、代わりに人口に比して土地が広い故に風力発電、地下水等の水エネルギーの利用が促進されます。エネルギー効率の向上を含むより詳しい資料や発電に使用される再生可能なエネルギーの達成率等に関する資料は日本広場 Sweden に記載するつもりです。

www.guardian.co.uk/news/datablog/2012/jun/19/renewable-energy-consumption-eu-targets

●「ドイツ脱原発視察」について、「目的」ではロシアからの天然ガスパイプ管2本が2012年に完成し、2012年10月には年間550億 m³のガスが利用出来る事が、ドイツで2022年までに国内の原発を全て閉鎖する決定の大きな理由である事を何ら言及されていない事に大きな疑問を持ちます。天然ガスを使つての発電では温室ガス削減目標を下げるのに大きく寄与する事を認識して頂きたい。

●ドイツが2022年に脱原発が実行出来る理由は下記が背景に有ると見ています。日本の様にドイツが地理的に孤立した国で有れば脱原発が2022年には出来るとは決定出来なかったと思います。

1) ロシアからヨーロッパに天然ガスがバルト海底に敷設したパイプ2本をとうして（1本275億 m³）、550億 m³立方（M³）が供給される事。

最初の1本は2010年4月に着工、2011年6が区間性、2011年11月ガス供給開始、平行に敷かれた2本目は2011年5月に着工、2012年4月に完成。2012

年10月にガス供給予定。

2本で供給される550億 m³立方のガス熱源は11箇所の原子力発電所の発電量に匹敵するとプーチンは言明しています。

この2本のパイプからの天然ガスはドイツのみならず、フランス、英国、オランダ、デンマークにも供給される。

ウクライナの地上に引かれたヨーロッパ向けのがすパイプはウクライナの国内政治で供給が不安定となり、ウクライナに依存しないパイプラインがロシアからヨーロッパに新設された事によりガス供給が安定した意義は大きい。

2) ヨーロッパの主要国間では送電線が国境をまたがって張り巡らされて居り、電力の売買は一商品と同じく売買されている。

ドイツは原発廃止のスケジュールにそって必要なら何時でもフランスの原発発電所で生産された電気を購入出来る。また、スウェーデンは水力発電と原発を中心としての発電能力は国内需要を上回っているのでスウェーデンの電力会社からも買える。

3) ポーランドからの石炭が大量に安価にかえる。

代価エネルギーの開発がドイツでどの程度選考しているのかは私はまだ調べてはいませんが、スウェーデン以上に進んでいるかは疑問です。

スウェーデンは電力総生産の50%は水力発電、50%は原子力発電が基本でしたが、過去2-3年は複数の原子力電所が改造や、故障等で操業率は60%と落ち込んだこと、再生可能な熱源に因る発電が急速に伸び且つ効率が良く成った事で、数字上は原発率が35%程度に下がり、再生可能な熱源に因る発電が上がり、まるで脱原発に急速に進んでいるかのごとき印象を与えてはいるが、スウェーデンでは原発廃止の具体的動きは現在はない。しかし、再生可能な熱源の利用への研究は盛んで先端を行っている国の一つである。

政治が一段落しましたら、スウェーデンに視察においてになれば良いと思います。海水や、湖の水を利用しての地域冷房設備網、汚水処理所の熱源の利用等実際に競争力ある価格で電力を生産している現場をじっくりと研究出来ます。

● 我が国のエネルギー政策立案のためにも森先生には現地の事情を良く調査して下さるようお願いいたします。

日独両国は共にエネルギーの自給自足が出来ない国ですので、この問題で国際紛争を起こすこと無きよう研究をお願いいたします。なお、東京電力は久里浜に大型石炭火力発電所を保有しておりますので石炭火力についてもドイツではどのようにになっているのか調査をされると良いと思います。(公害との関係。)

● メルマガに昨日以下の情報を掲載しましたので、ご参考までにお知らせします。

Mag2: <http://www.mag2.com/m/0000025024.htm>

文章は著作権に配慮して独自の表現で纏めています。

スイスの著作権は情報そのものには付与されていません。

因みに中日欧州連合代表部は以下の様に発表しています。

<http://www.euinjapan.jp/media/news/news2012/20121004/141255/>

スイスの報道よりも大分オブラートに包んだ内容です。

スイスでは目下原発の使用済み燃料の最終処分場をどこにするかが議論の俎上に乗せられています。候補地の地元住民は知らない内に候補に挙げられたと激しく反発しています。

quote

6) EU のストレステスト：原発に安全欠如 (Tue. 02.10.2012 Smi)

EU-Stress-Tests: Safety-deficiencies at Nuclear Power Plants.

EU-Stress-Tests: Sicherheits-Maengel bei den AKW's.

公開には時期尚早の報告書の草稿によると、ヨーロッパの原発の安全性欠如が示されたとされている。「EU ストレステスト」の暫定結果で、対象となったのはヨーロッパとスイス、ウクライナの 145 の原子力発電所。

欧州委員会によると、原発事業者は今後 10 年間で最大 250 億ユーロを改善に費やさなければならない！特に批判されたのはフランスの原発で、ドイツの既存の原発も同様に安全性の欠陥が認められた。特に深刻な欠陥があったのはフィンランドとスウェーデンの二つの原発！スイスの原発は良い評価を受けた。

(出典：2012 年 10 月 2 日/5 日付ターゲス・アンツァイガー紙)

<http://www.tagesschau.de/inland/akwstresstest108.html>

http://www.sporza.be/polopoly_fs/1.1444957!file/stresstest-kerncentrales.pdf

<http://www.ee-news.ch/de/erneuerbare/article/25306/>

[ensi-schweizer-akw-schneiden-im-eu-stresstest-gut-ab](http://www.ensi-schweizer-akw-schneiden-im-eu-stresstest-gut-ab)

According to a draft report, which was made public premature, it is said that the nuclear power plants in Europe have safety-deficiencies; that is the temporary result of the <EU-Stress-Tests> at 145 nuclear power plants in Europe as well as in Switzerland and in the Ukraine. According to the <EU-Commission> the nuclear power plant companies have to invest up to 25 bn. Euros for the removal of defects in the next 10 years! Particularly criticized were the nuclear power plants in France, however at the still existing nuclear power plants in Germany, there are safety gaps too. Particular serious defects are said to exist at two nuclear power plants in Finland and Sweden! Swiss nuclear power plants are said to have been judged as good.

Gemaess einem Berichts-Entwurf, welcher vorzeitig an die Oeffentlichkeit kam, weisen die Atomkraft-Werke in Europa Sicherheits-Maengel auf; dies ist das provisorische Ergebnis der <EU-Stress-Tests> bei 145 Atomkraft-Werken in Europa sowie der Schweiz und Ukraine. Gemaess der EU-Kommission muessen die AKW-Unternehmen in den kommenden 10 Jahren bis zu 25 Mrd. Euro in die Behebung der Maengel investieren!

Besonders kritisiert werden Atomkraft-Werke in Frankreich, bei den (noch) bestehenden AKW's in Deutschland gibt es jedoch ebenfalls Sicherheits-Luecken. Besonders schwere Maengel gebe es bei zwei AKW's in Finnland und Schweden! Schweizer AKW's seien gut beurteilt worden.

(Quelle: Tages-Anzeiger vom 02./05.10.2012)

<http://www.tagesschau.de/inland/akwstresstest108.html>

http://www.sporza.be/polopoly_fs/1.1444957!file/stresstest-kerncentrales.pdf

<http://www.ee-news.ch/de/erneuerbare/article/25306/ensi-schweizer-akw-schneiden-im-eu-stresstest-gut-ab>
unquote

● ドイツへの脱原発の視察、ご苦労様です。本来であれば、原爆の惨禍と原発事故の恐怖を身をもって体験した日本こそが、世界に率先して脱原発を推進するのが正常な人間の感覚だと思います。ドイツに出来ることなら、日本にだって出来るはずですよ。私は、子や孫の世代が安心して、希望を持って暮らせる日本であって欲しいと願っています。今回の視察団の皆様方の帰国後の会見を楽しみにしております。道中、お気を付けられて。

● 地域暖房と地域冷房設備は建物の暖房と冷房する分野では最もエネルギーの効率がよいシステムで有るのは既に御存知だと思います。

暖房と冷房をコンビとする設備はより効率度が高く成る。日本では新開発地区以外では地域暖房や地域冷房は導入されていない。

非常に大量のエネルギーが無駄となっています。

この種のインフラは中央及び地方自治体の主導がなくしては構築出来ません。特に海水や河川、湖の水の利用には政治的主導が必要です。

スウェーデンでは環境に優しく、経済効率が高いプロジェクトならば、関連規制の適用は柔軟、又は必要な規制の変更には前向きに対応するのが一種の風潮です。

東京の開発地区での地域冷房設備に関する情報も勿論参考にして下さい。基本的な設備は同じです。国として、地方自治体として前向きに海水熱の有効利用をすべしというのが私の提案です。

● 1) 原発ゼロをベースとした如何なるエネルギーが現実的な time schedule で利用出来るかが、今後の原発ゼロが現実的に成るか否かのキーです。

西ドイツと東ドイツに分轄されていた時代は、西ドイツは石炭が国内でとれる、緑運動が伝統的に強いなどを背景として原発には横を向いていたと言えます。いっぽう東ドイツはソ連の影響でロシア製の原発を建設していましたが統合された後は操業の危険性が強く指摘され閉鎖した。

ドイツにはロシアから天然ガスがパイプで供給される送還パイプが間もなく完成するので今後の主なエネルギーはガスにたよる。

又、フランスは原子力が70%と極めて高く、ドイツはフランスから電力を買う事も出来

る。ドイツが地理的に日本の様に孤立していたなら原発をすっきりと止める事が出来るかは疑問かもしれない。

2) 代価エネルギー : 風力, 太陽熱, 地熱, 天然ガス, バイオガスなどいろいろと考えられるが, これまで日本であまり使われていない, 且つふんだんにあるエネルギーの有効利用が有ります。

海水 (湖, 川も含む) は地形と場所に因るが数百メートルの海底の水温は7度前後でこの冷水を熱交換器で有効利用して地域冷房設備の網を作る。

日本では高層ビル開発地域の冷房設備で私用され始めています。しかし, 例えば地方都市での地域冷房設備の建設へとは進んでいない。

理由は海岸線, 漁民利益等との兼ね合い, 統括官庁が異なり一貫した方針がない事で海水の利用が殆ど出来ていない。

スウェーデンでは地域暖房は昔から完備していて地域暖房は当然の設備。しかし, この10年の間に地域冷房設備網が完備されて来ました。

ストックホルムの町の冷房は各ビルが設備を持つのは昔々のこと。今では地域冷房網で供給された冷水を利用しています。各ビルが冷水塔その他の設備で占めていた面積を有効利用するメリットも有ります。

私は3年程前にスウェーデンの設備の開発建設会社 TERMOEKONOMI の社長と調査, 視察を東京の晴美を中心にして, 東電, 東京都庁, ビル管理会社等会いましたが, 問題は海水利用に関する規制が多い, 中都市計画の基本方針がなく, 各々の開発会社任せである事でしょうか。

昨年3月に地震と大津波で東北地区の海岸地区はほぼ全滅。新しい都市計画にもついて地域冷暖房を導入する良き機会とおもいましたが, ばらばらな対応しかされていないのではないかと思われる。

この地域冷房網はヨーロッパでも徐々に採用されつつ有ります。Termoekonomi 中国のDalian 開発地区の地域冷房網の建設, 北京オリンピック村の冷暖房設備の建設に携わりました。

海水の有効利用に関する研究をされます様お進めします。

「ドイツ脱原発」

- ① 再生可能エネルギーの開発推進＋住宅などの省エネ政策推進
並行して推進
- ② 環境に良い新エネルギー技術開発と産業育成
特に地域の産業としての新エネルギー開発と雇用推進と
一体となった政策

具体的に見てきてもらいたいことや現場

- ③ 廃炉原発の解体処理と放射能廃棄物、使用済み核燃料などの中間貯蔵・管理施設
- ④ 再生可能エネルギー利用モデル事業として太陽光、風力、小水力、バイオマスなど多角的な発電、送電・給電を賄って
電力自給率向上を図っている特定自治体
- ⑤ 蓄電技術（揚水発電所、空気圧縮蓄電など）の開発・推進
- ⑥ 北海沿岸（遠浅）での大規模風力発電基地と各地での中小規模風力発電事業
（地域住民の金銭面の負担を少ない形での企業との協力事業）
- ⑦ 規模に応じたキメの細かい補助金、育成制度（10～20年間）
- ⑧ 稼働期間30年で廃炉とするドイツの原発政策と日本の原発政策との違い
- ⑨ 中小電力事業と大手電力会社との共存関係の在り方
（電力市場自由化で大手電力が中小電力を買収して巨大化した副産物にどう対処したか）
- ⑩ 個人や小規模発電を優先的に送電網につなぐ制度
- ⑪ 欧州全体での電力供給網と消費者が電力会社を選んで
随時契約切り替え出来る制度
（ドイツは年間を通すと電力輸出超過、川沿いにあるフランスの原発は
渇水期に稼働停止、その間ドイツなどから電力を輸入）
（ノルウェーからスペインまでの送電網、アルジェリア・サハラ砂漠での大規模太陽光発電基地建設）
- ⑫ スマートグリッドの推進・展開状況
（地域住民の支持を得るための地域や個人への利益配分と自治体振興）
- ⑬ 再生可能エネルギー推進政策で雇用が8年間で16万人が40万近くに増える成果

●日本ではドイツの太陽光政策は失敗したとかの否定的報道がありますが、

補助金政策で太陽光発電が普及しすぎ、政府が補助金支出削減したことや安い中国製品の流入で、大手太陽光パネル製造企業が倒産したことなどを意図的に報道しています。

(ドイツの太陽光発電業界は、今年から普通料金と同じくらいの料金の電力供給がかのうになった筈)。

- 原発周辺では低レベル放射能を長期被曝したことによる健康障害が無視できなくなったことも脱原発に拍車
- ドイツ政府・産業界は 温暖化や環境破壊の問題で いずれにせよ世界は環境保全技術の開発促進に向かわざるを得ない、とみており再生可能エネルギー推進を通して省エネと環境技術推進の分野で世界の先端に立ち、21世紀の産業界の主導する、という戦略があります。
(つまり再生エネルギー推進を含む環境保全技術産業は21世紀のドイツの主要産業にする、との戦略)
- ドイツ大使などは、日本は北海道より北にあるドイツより遥かに太陽エネルギーに恵まれており、太陽光発電はドイツより遥かに効率よく推進できる。
- 風力も海岸線が長い日本は、海岸線の短いドイツより遥かに風力に恵まれており、遥かに効率の良い風力発電が可能だ、などと言っています。
- ドイツ政府は日本が脱原発を目指せば、幾つもの関連分野での科学技術開発推進で協力したい意向を示しています。
- 出来れば緑の党とも会って脱原発の理念と具体的政策について協力関係を作れると良いと思います。
(緑の党は特定の支持基盤を持たず、党の在り方、運営方法、議員個々の自由度、問題に直面した時の議論は全て公開、などなど幾つもの点で「国民の生活が第一」が共通できるものがあります)

●ドイツ視察にいかれるそうですので、ドイツDFG協会2010年調査によれば、ドイツは自然エネルギーで間接雇用も含め100万人の雇用創出をしていると発表されていますので、おそらく自然エネルギーによる発電が中小製造業にも恩恵をもたらしていると推測されます。

ドイツは中小企業の情報共有がいきとどいている国なので、どのような業種に好影響をもたらすのかというデータを入手、あるいは依頼されると良いと思います。

日本の原発雇用は間接雇用でも8万人程度ですので、脱原発は経済活性化の起爆剤にもなり得ると思います。

限られた時間の視察なので大変だとは思いますが、ドイツ中小企業は情報共有化が進んでおり、この分野でも日本の行政システムは見習うべき点が多くあると思います。

●ドイツの脱原発政策の決定過程について誤解している人がいるようなので改めて指摘しておいてください。

①メルケル首相が脱原発を決めたのではない。

2022年までに脱原発を決定したのは前のシュレーダーとフィッシャーの社民・緑の連立政権。

逆に彼女は「脱原発」政策は変更できないので2010年12月、脱原発が実現する期限を大幅に延長することを決定。背景に大手電力会社の巨額の献金があります。

これに対し、ドイツ人は各地で反対デモを続け、各州の選挙で次々と保守連立政権を敗北させます。メルケルが堪え切れなくなっている処に起きたのが2011年3月11日の福島第一原発事故。3月末に保守党の金城湯池バーデン・ヴュルテンベルク州選挙を控えて慌てたメルケル首相、当面の措置として原発の一時的な運転凍結と安全点検の実施を決定。しかし、ドイツの有権者は選挙目当てと判断、保守党はバーデン・ヴュルテンベルク州選挙で歴史的敗北、戦後ほぼ一貫して維持してきた州政権の座を明け渡します。

②来年に予定される連邦議会選挙に向けた起死回生の一策として打ち出したのが「エネルギーに関するドイツ倫理委員会」です。

この倫理委員会の議論を全面公開で行い、委員会の勧告を受ける形でシュレーダー政権下で決定した脱原発政策の原点に戻った、というのが実情です。

いかにも現代のドイツ人らしいのが*原発推進は2点で倫理上進めてはいけない

1. 原発事故が起きると自分たちだけでは対応できず、責任をもって収束できないまま近隣諸国、ひいては世界に悪い影響を与える。これは倫理上納得できない
2. 使用済み核燃料や放射性廃棄物の処理は人類の英知を遥かに超え解決不可能なことで、自分たちだけで解決できずに、子や孫、それに続く未来の世代に悪い影響を与える。これも倫理上やってはならない

メルケル首相はこの倫理委員会の報告を尊重する形で脱原発政策の実施期限を改めて元に戻したのが実情です。

議員団がメルケル首相を褒めたりするとドイツ側は何も分かっていない、と思うでしょう。

【voice】

「脱原発視察団」に対し、一言お願いします 皆さんの声：

TWITTER で募集し、返信いただいたものをまとめました。

10月12日  喜八 @Blackcatwatch

@seikatsu1_activ 脱原発への具体的な方法を探ることは、国民の生活を守るために一番大切なことのひとつです。実り多い視察をなさって、実践していただけるよう期待しています。

10月12日  天然 @theseaaroundmt

@seikatsu1_activ 原発関連の労働力の移換がどのように為されるのか、日本に持ち帰る物を見つけて来て下さい。

10月12日  **つるちゃん** @matsufuji5

ぜひ現地で記者会見をして党のしっかりしたメッセージを、パフォーマンスではないことを伝えて RT“@seikatsu1_activ: 【voice】「脱原発視察団」に対し、一言お願いします <http://www.seikatsu1.jp/activity/114/> ”

10月12日  **とらたぬこ** @tratnou

脱原発に舵を切る時に日本であれば経産省や経団連、マスメディアなど原子力利権が猛反対をする。そのような原子力利権にどうやって対抗できるたのか聞いてほしい。@seikatsu1_activ 【voice】「脱原発視察団」に対し、一言お願いします

10月12日  **鈴木 浩一 タクシードライバー** @kouichisuzuki01

視察は必要なんですか？

10月12日  **たまみ** @tamamidamon


@seikatsu1_activ 再生エネルギー偏重にならないようデメリットも見てきてください。

10月12日  nanaootsuki @nanaootsuki

@seikatsu1_activ メルケルさんが脱原発の決断と実行を即座におこなえたのはなぜか、ドイツの経済界、マスメディア、民意をよく調査してほしい。

10月12日  Ноль Сугрев @Typgeneb


観光で終わらせぬように□□RT“@seikatsu1_activ: 【voice】「脱原発視察団」に対し、一言お願いします
す <http://www.seikatsu1.jp/activity/114/> ”

10月12日  awayuki (禁原発) @cats_mam

ドイツでは勿論ですが、世界に向けても、大々的に、発信をお願い致します!!

10月12日  野本祐治 @nomSABOyuji

原発問題は電力需給や経済の問題ではなく、国家倫理の問題なのだ。という事を国民に知らせ、説得し、理解させる為の論理を視察してきてください。RT @seikatsu1_activ: 【voice】「脱原発視察団」に対し、一言お願いします <http://bit.ly/PLHELA>

10月12日  ろろ@原発増税 TPP 絶賛反対中 @roro_yameroTPP
@seikatsu1_activ 単に脱原発をすればよいというのではなく、電力の地産地消や、それを可能にする発送電分離体制もしっかり視察し、国政に反映させてほしい。

10月12日  ポップ @pop0313

@seikatsu1_activ 頑張れ！ドイツが出来て日本が出来ないはずはない！

10月12日  まゆきすと@睡眠の安定が第一 @mayukist

@seikatsu1_activ ドイツの脱原発という、バカの一つ覚えで「ドイツは原発国フランスからの輸入に依存している」と言う人たちがいます。この点、実態をしっかりと見きわめてレポートをお願いします。

10月11日  kyo @kyo3200

メルケルさんの話を聞いてきて頂きたいな… RT “@seikatsu1_activ: 【募集中】「脱原発視察団」に対し、一言をお願いします

<http://www.seikatsu1.jp/activity/114/> ”

10月11日  imamura yoko @mizusoramidori

@seikatsu1_activ 実際の脱原発に役立つような情報収集と報告をお願いします。気をつけて行ってきてください。

10月11日  よっちゃん @aromanasoap

@seikatsu1_activ 震災ガレキの広域処理は間違っています。今すぐ撤回させるために動いてください。小沢さんの力が必要です。日本を放射能汚染から守ってください。放射性物質は拡散してはいけません。回収して封じ込め遮蔽して管理するしかありません。どうか日本を守ってください！

10月11日  Y.Shimizu @Saisyoh

IWJ 特派員をよろしく (^~)/ RT @seikatsu1_activ: 【募集中】「脱原発視察団」に対し、一言お願いします <http://bit.ly/WUAPfS>

10月11日  ここあ @gingersoy milk

@seikatsu1_activ ドイツでは「もんじゅ」のような高速増殖炉「カルカール原発」を国民の反対で稼働させず廃止にし、今はメリーゴーラウンドになっているそうです。日本も核燃料サイクルを止められるような方策をなんとか得てきてほしいです。

10月11日  たか @takamind

政治家として当然の正しい仕事。(利権持ち以外)多くの国民が支持する行動。政府、他党、マスコミ等は賞賛すべきだが無関心なら彼らが反国民である証。

10月11日  urara(脱原発に一票・埼玉7区) @nejibana71

@seikatsu1_activ 日本は大地震の活動期(富士山爆発含む)なのだから、10年といわず即時廃炉にするよう検討願います。頑張ってください！

10月11日  hk @nerimapapa

素晴らしいアイデアと行動力。下記ご確認を。 1. 脱原発に対する産業界の決意と対策。 2. 使用済み核燃料の処理と処分の方法と成功ストーリー。 RT @seikatsu1_activ: 【募集中】「脱原発視察団」に対し、一言お願いします <http://www.seikatsu1.jp/activity/114/>

10月11日  **nanaootsuki** @nanaootsuki

@seikatsu1_activ 脱原発は日本人の9割は願っていることです。国民の生活が第一は日本中にこの活動をひろめてください。

10月11日  **Tadashi Kishimoto** @TadashiKishimot

@seikatsu1_activ 岩倉使節団みたいですね。頑張ってください！

10月10日  **アルルの男・ヒロシ**@I Told You @bilderberg54

小沢一郎が、ドイツに今月半ばに視察に行くようだが、ドイツでは送電線の建設が電磁波などの理由で反対運動が起きている。洋上風力などの送電には送電線増設が必須。今日のFTの記事。細かい所での脱原発の障害要素のリストアップも同行議員には期待。